

第2学年 算数科

1 学年の目標

- (1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。
- (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

2 内容 (○知識及び技能 ●思考力, 判断力, 表現力等)

数	数の表し方と構成	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ大きさの集まりにまとめて数えたり，分類して数えたりすること。 ○4位数までについて，十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。 ○数を十や百を単位としてみるなど，数の相対的な大きさについて理解すること。 ○一つの数をほかの数の積としてみるなど，ほかの数と関係付けてみること。 ○簡単な事柄を分類整理し，それを数を用いて表すこと。 ○$1/2$，$1/3$ など簡単な分数について知ること。 ●数のまとまりに着目し，大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え，日常生活に生かすこと。
と		
計	加法，減法	<ul style="list-style-type: none"> ○2位数の加法及びその逆の減法の計算が，1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，それらの計算が確実にできること。また，それらの筆算の仕方について理解すること。 ○簡単な場合について，3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。 ○加法及び減法に関して成り立つ性質について理解すること。 ○加法と減法との相互関係について理解すること。 ●数量の関係に着目し，計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに，その性質を活用して，計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。
算	乗法	<ul style="list-style-type: none"> ○乗法の意味について理解し，それが用いられる場合について知ること。 ○乗法が用いられる場面を式に表したり，式を読み取ったりすること。 ○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること。 ○乗法九九について知り，1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること。 ○簡単な場合について，2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。 ●数量の関係に着目し，計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに，その性質を活用して，計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。 ●数量の関係に着目し，計算を日常生活に生かすこと。
図形	三角形や四角形などの図形	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形，四角形について知ること。 ○正方形，長方形，直角三角形について知ること。 ○正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し，それらを構成したり分解したりすること。 ●図形を構成する要素に着目し，構成の仕方を考えるとともに，身の回りのものの形を図形として捉えること。

測 定	長さやかさの単位と測定	<p>○長さの単位（ミリメートル（mm），センチメートル（cm），メートル（m））及びかさの単位（ミリリットル（mL），デシリットル（dL），リットル（L））について知り，測定の意味を理解すること。</p> <p>○長さ及びかさについて，およその見当を付け，単位を適切に選択して測定すること。</p> <p>●身の回りのものの特徴に着目し，目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり，比べたりすること。</p>
	時間の単位	<p>○日，時，分について知り，それらの関係を理解すること。</p> <p>●時間の単位に着目し，時刻や時間を日常生活に生かすこと。</p>
データの活用	簡単な表やグラフ	<p>○身の回りにある数量を分類整理し，簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすること。</p> <p>●データを整理する観点に着目し，身の回りの事象について表やグラフを用いて考察すること。</p>
数学的活動		<p>①身の回りの事象を観察したり，具体物を操作したりして，数量や図形に進んで関わる活動</p> <p>②日常の事象から見いだした算数の問題を，具体物，図，数，式などを用いて解決し，結果を確かめる活動</p> <p>③算数の学習場面から見いだした算数の問題を，具体物，図，数，式などを用いて解決し，結果を確かめる活動</p> <p>④問題解決の過程や結果を，具体物，図，数，式などを用いて表現し伝え合う活動</p>
用語・記号		>，<，×，直線，直角，頂点，辺，面，単位

3 内容の取扱い

- 「数の構成と表し方」については，1万についても取り扱うものとする。
- 「加法，減法」については，必要な場合には，（ ）や□などを用いることができる。また，計算の結果の見積もりについて配慮するものとする。
- 「加法，減法」の“加法及び減法に関して成り立つ性質”については，交換法則や結合法則を取り扱うものとする。
- 「乗法」の“乗法に関して成り立つ簡単な性質”については，主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則を取り扱うものとする。
- 「三角形や四角形などの図形」の“正方形，長方形，直角三角形について知ること”に関連して，正方形，長方形が身の回りで多く使われていることが分かるようにするとともに，敷き詰めるなどの操作的な活動を通して，平面の広がりについての基礎となる経験を豊かにするよう配慮するものとする。

4 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
知識・技能	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに，整数の意味と表し方，整数の計算の意味，長さやかさなどの単位と測定の意味，図形の意味及び数量の関係などについて理解している。整数の計算をしたり，長さやかさなどを測定したり，図形を構成したり，数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して，数理的な処理に親しみ，考え表現したり工夫したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に親しみをもち，それらについて様々な経験をもととするとともに，知識や技能などを進んで用いようとしている。